

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
観光事業論 tourist industry		2年	前期	金曜日 1時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
観光学概論、観光ビジネス論、地域観光論、観光文化論、経営学Ⅰ・Ⅱ、経済学				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
観光学演習、観光学演習、				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
國分三郎	本館2F	木曜日 13:00~14:00	授業中に指示します	
授業の概要				
観光事業とは、観光に関する商品やサービスを創造して提供する事業である。これには、公共が行う観光事業と民間が行う観光事業がある。本講座では、前者の立場からわが国の観光事業の歴史的展開を見た後に、わが国の観光推進政策と観光事業の関わりや、着地型観光やニューリズム観光といった新しい観光潮流の中での観光事業の在り方を取り上げる。				
授業の到達目標				
①わが国の観光事業の歴史的重点政策の移り変わりを理解できるようにする。 ②わが国の観光立国政策やその背景と地域観光の現状を理解しその将来の在り方を考えることができるようにする。 ③新しい観光の潮流を理解し地域社会の活性化の具体的な有り方を考えることができるようにする。				
授業の方法				
講義形式の授業を行う。基本的には配布資料を中心に行うが、DVDなどの映像を多く取り入れた授業である。				
学習の成果				
この授業を履修すると、あなたは ①観光事業や観光政策に関する基本的な知識や思考を身につけることができる。 ②観光資源を活用した街づくりや村おこしなどを通じて地域の活性化の方法を考えることができる。 ③観光による新しい地域資源の開発を創造する力が身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	観光と観光事業(観光事業の概念、観光事業と義と観光産業)			
第3回目	観光事業の歴史的展開①(観光事業の誕生、わが国観光事業の黎明期、わが国観光事業の推進期)			
第4回目	観光事業の歴史的展開②(わが国観光立国への第1期、第2期、第3期)			
第5回目	わが国観光立国の基本的枠組みと観光の現状(観光立国の基本的概念、わが国観光の目標と現状)			
第6回目	地域による競争力の高い観光地の開発(地域資源を活用した観光地づくり、観光事業の振興、観光のユニバーサルデザイン)			

第7回目	観光事業の競争力の強化および人材の育成(サービスイノベーション、生産性向上の取り組み、人材の教育)	
第8回目	国際観光の振興(ビジット・ジャパン・キャンペーン、相互交流の推進)	
第9回目	観光分野の新たな視点(ラグジュアリー・トラベルマーケット、ニューツーリズム、体験交流プログラム)	
第10回目	国内観光事業の促進と新しい街づくり①(観光立国推進基本法、国内観光のニーズの多様化)	
第11回目	国内観光事業の促進と新しい街づくり②(国内観光の多様化、観光街づくり)	
第12回目	着地型観光と地域社会振興①(新しい観光の現状と課題、着地型旅行商品の開発)	
第13回目	着地型観光と地域社会振興②(着地型観光の主体と「旅行業法」の規制緩和、着地型の経営モデル)	
第14回目	持続可能な国内観光事業(持続可能な観光、観光事業と環境問題、)	
第15回目	まとめとテスト(一連の講座を振り返り、授業の補足すべき内容の説明や受講者からの質問に答える)	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度	30%	最高水準(S)としては無遅刻無欠席で、授業に集中し講義への質問を積極的に行うこと。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	70%	最高水準(S)としては、課題の趣旨を理解して、必要な専門用語を駆使しながら論理的な一貫性をもって論述すること。
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
北山宋忠『現代観光事業論』ミネルバ書店		
履修上の心得・ルール		
受講態度(特に私語禁止および出席状況を重視する。無断欠席・遅刻は減点の対象とする。遅刻3回で無断欠席1回とする。		